

県民あんしん共同太陽光発電事業 設置施設 担当者の声

利用者と地域の方の 安心のために

かわづ福祉サービス有限会社
放課後等デイサービス いちご
(放課後等デイサービス)

川口市

太陽光発電設備等の設置日 2022年10月



Q 施設の概要を教えてください。

A 当施設は、2011年開所の放課後等デイサービスです。障害のある子供たちが、放課後、生活能力向上のための訓練を行っています。定員は10名で、現在は、小学生から高校生まで18人の児童生徒が利用しています。

Q 県民あんしん共同太陽光発電事業に応募したきっかけを教えてください。

A 施設は日当たりがいいので、以前から、太陽光発電設備の設置について考えていました。今回、太陽光設備業者に設置について相談したところ、補助金があることを知り、設置することを決めました。

当初、蓄電池の設置は考えていませんでしたが、補助金を利用することで、蓄電池も設置することができました。災害時は、蓄電池もあると安心です。



川津 正昭 取締役

Q これから太陽光発電設備と蓄電池をどのように活用されていきますか。

A 太陽光で発電した電気は、まず、災害が起きた時のために蓄電します。蓄電されていれば、自家消費しています。

停電時も、室内の電気やエアコンなど平常時とほぼ変わらず電気が使用できるので、子供たちも安心して過ごすことができます。

地域の方にも室内で過ごしてもらおうことができると考えています。

Q 災害時の対応に不安はありませんか。

A 災害時は、施設の近くに住む職員が駆け付けます。外部のコンセントや、駐車場の建物も活用することで、多くの方に利用してもらうことができます。

日頃から地域の方には子供たちに声をかけてもらったり、お世話になっています。困ったときは、地域の方にも利用してもらいたいと考えていましたので、不安はありません。

Q 設置を考えている施設の方へメッセージがあればお願いします。

A 東日本大震災を経験し、施設に太陽光発電設備導入など災害時の対応について検討している施設は多くあると思います。補助金の存在はかなり大きいので、是非補助金を利用して、太陽光発電設備と蓄電池を導入していただきたいと思います。



太陽光パネル（補助対象設備）



蓄電池（補助対象設備）